

わかさ生活

# アイケア素材で研究報告

## ビルベリーⅡ胃潰瘍予防

## ルテインⅡ糖尿病網膜症予防

わかさ生活㈱(京都市下京区)は、このほどビルベリーと、ルテインに関する機能性研究の成果を発表した。ビルベリーでは、原英彰・岐阜薬科大学教授との共同で、胃潰瘍予防作用があることを動物試験で確認。ルテインについては、坪田一男・慶応義塾大学教授との共同研究で、糖尿病網膜症による神経障害を予防する作用が動物試験で認められたとしている。これらの研究成果について同社では、先般開催された日本薬学会大会と、日本眼科学会総会でそれぞれ報告した。

同社の発表によると、ビルベリーについては、胃粘膜を保護し、胃潰瘍を予防する可能性がある。同社ら

の実験では、胃潰瘍を発生させたマウスにビルベリーを摂取させたところ、胃潰瘍により生じる胃粘膜の浮腫が抑制された他、胃潰瘍の原因物質となる胃粘膜の脂質過酸化の増加抑制も認められたとしている。

一方のルテインについて

は、糖尿病マウスにルテインを継続摂取させたところ、糖尿病の発症により産生される酸化ストレスを、糖尿病ではないマウスと同程度まで抑制。また、糖尿病を発症すると低下する、視細胞で情報伝達に関わるタンパク質「シナプトフィジン」と、逆に低下する「p-ERK」が、それぞれ正常値と同レベルまで抑えられたという。

なお、ルテインの研究については論文にまとめられており、今年2月、学術誌「タイアペトロシア」に掲載された。